

■木暮実千代 女優になるや一躍人気スター、実業家妻として、ボランティア活動家として八面六舌の活躍。

こぐれみちよ
第一次大戦終1918＝ 山口県下関で、和田牛乳店の娘登喜に婿入りした関釜連絡汽船取締役和田輔の次女に生れる。本名つま。

奔放な父に苦勞絶えない気丈な母のもと、3つ年上の姉静江は、母の兄の実子とされ、
原敬首相暗殺1921＝ 3歳：
水平社結成・1922＝ 4歳：この年誕生した妹敏子も、和田牛乳店後継ぎの実子とされてしまうような家で、
頭の回転が速く、お転婆で、
護憲三派圧勝1924＝ 6歳：彦島第二小学校に入学後も、
男の子を引き連れて遊び、学校はサボって成績は低迷。

金融恐慌・・・1927＝ 9歳：

海軍軍縮条約1930＝12歳：父が多額の寄附をすることで、姉静江が入っていたミッションスクール梅光女学院に、裏口入学。
満州事変・・・1931＝13歳：

姉御としてクラスの人気者になるも、学校とは度々悶着を起こしながら、過ごすうち、

芥川直木賞始1935＝17歳：またも母に見放された父が、帰宅するなり咯血して倒れ、改心するのを見て、自らも改心、急に福音書を読み始め、来訪した賀川豊彦の講演に感激、密かに受洗、卒業記念の伝統の英語劇を、発案して「桐一葉」にし、自らヤクザの道具借り、迫力満点の演技で喝采得て卒業。上京、和田牛乳店に居候するもつまらしく、

二二六事件・1936＝18歳：洋裁学校を経て、帝大生目当てに本郷女子高等学院に通うも、やはり飽きてしまい、
日中戦争始・1937＝19歳：願書受付中の立看板を目にするや、演劇好きの目が覚め、その年の紅一点で、日本大学芸術学科入学。
総動員+健保 1938＝20歳：指導教授の劇団一員として野外劇に出演、これを見た松竹大船製作部長に見出され、在学のまま入社。
第二次大戦始1939＝21歳：*「愛染かつら」脇役で布石ののち、「結婚天気図」に抜擢デビュー、以後、立て続けに出演し、パンプ(妖婦)役に個性を發揮、高峰三枝子らに迫る若手人気スターとなり、ファンによる後援会(木の实)も発足。
日米開戦・・・1941＝23歳：満州ロケの際、満映理事室に行つて、従兄の満州新聞理事長和田日出吉と出会い、愛欲に溺れ、
・・・1942＝24歳：東京で男子篝一郎を出産すると、日出吉が妻と離婚し、正式に結婚。以後、満州で生活するうち、
敗戦・・・1945＝27歳：敗戦となり、甘粕自決、夫が満映の後始末をつけ、ソ連収容免れた後、
新憲法公布・1946＝28歳：*引揚げ。引っぱりだことで、各社に出演、コケティッシュな役柄に精彩を放ち、たちまちトップスター。

敏子が実の妹と知ると、自らのマネージャー役にして、その生活を支え、
役割終えた夫と立場逆転、自らが表舞台に出、裏で支える夫の言うことだけは聞く生活を送りながら、
成熟した女性の色気と円熟した演技で人気絶頂に達し、膨大な作品に出演し、過勞の極に達するも、
後援会(木の实)が復活。

朝鮮戦争始・1950＝32歳：敏子の義母の縁で、ジュジュリム本舗の宣伝の顔になると、経営の才も發揮して、売上激増。
独立回復・・・1951＝33歳：ハリウッド主催世界映画祭に関連して日本国内で実施された人気スターアンケートで日本人女優トップ。
メデー事件・1952＝34歳：その後多数の映画に出演しながら、雑誌の対談・エッセイ執筆・募金支援・施設訪問などをこなし、
購入した旅館を付人辞めた敏子に与え、敏子は名女将となって行く

自衛隊発足・1954＝36歳：自ら願望した娘を出産したが、身体危機になるも回復。三洋電機の広告塔「サンヨー夫人」になる。

55年体制始・1955＝37歳：戦災孤児のためのボランティア活動を開始し、

国連加盟・1956＝38歳：大映と専属契約。長者番付の芸能人トップ。

なべ底不況・1957＝39歳：{鐘の鳴る丘少年の家}後援会長となる。2年連続で長者番付芸能人トップとなり、納税功勞者表彰。

イヌストフーム 1958＝40歳：疲勞が重なって、複数の病魔が近づき始め、映画のピークが終わり、テレビ「晚い結婚」に初出演。

安保闘争・・・1960＝42歳：

全国総合計画1962＝44歳：翌年にかけての尾上松緑とコンビのホームドラマ「パパだまって」は大人気で高視聴率。

TV宇宙中継始1963＝45歳：尾上松緑の励まして、明治座の「蜘蛛巣城」で初舞台、評判良く、

東京マヒョク 1964＝46歳：*春の新派祭に招待され特別参加するも、身体に変調来し、初めて病院検査を受けると病気のデパート。

以降、明治座ほか各地の劇場で、多数の新派劇に主演するうち、入退院を繰り返すようになり、

ドレショック・・・1971＝53歳：この年には、舞台出演も終わるが、

日中国交回復1972＝54歳：テレビ番組「奥さん二時です」の司会もつとめた。

石油ショック1973＝55歳：女優初の保護司に選ばれると、

角栄金脈辞任1974＝56歳：保護観察担当の仮出獄者を自宅に引き取り、家族の一員として扱い、完璧に立ち直らせて行く。

クアソール事件1975＝57歳：郷里下関に{木暮実千代後援会}発足した際、母校梅光女学院でも講演。

田中角栄逮捕1976＝58歳：ボランティア活動で、紺綬褒章受章。

JALハイジャック・1977＝59歳：夫が死去。

貿易摩擦始・1980＝62歳：_{日本中国留学生研修生援護協会}常任理事もつとめ、

・・・1981＝63歳：

中曽根内閣・1982＝64歳：また、タレント養成のスターメーカーズスクール、化粧品会社エルなどを開設して経営するなど、実業家としても活躍。

女優として実業家として妻として、またボランティア活動家として、八面六舌の活躍をし続けて、

ドイ統一・・・1990＝72歳：_没した。